



Joshi University of Art and Design,  
Department of Design and Crafts,  
Concentration in Visual Design

女子美術大学デザイン・工芸学科  
 ヴィジュアルデザイン専攻 専任教員作品展

Joshihi University of Art and Design,  
 Department of Design and Crafts,  
 Concentration in Visual Design

2014年6月18日[水]▶8月3日[日]  
 10:00▶17:00(入館は16:30まで)火曜日休館/入館無料

この度、女子美アートミュージアムでは、女子美術大学芸術学部デザイン・工芸学科ヴィジュアルデザイン専攻の専任教員11名と客員教授による展覧会を開催致します。本展の出品者は、各々が多彩なジャンルで活躍するとともに、日頃の研究を元に、表現手段の多様化という時代のニーズに応じて様々な授業を展開しています。ヴィジュアルコミュニケーションの重要性を探求する本専攻は、社会とのつながりを求めて多方面の分野に開いています。本展の開催が、皆さんと“ヴィジュアルデザイン”をつなぐ機会となれば幸いです。

主催=女子美術大学 デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻  
 共催=女子美術大学美術館 後援=相模原市、相模原市教育委員会

**ワークショップ** 本学オープンキャンパス期間中の7月20日(日)・21日(月・祝)。  
 相模原キャンパス 10号館1階 1011スタジオにて。

本年度より始まった実技試験「視覚表現」を体験してみよう! 教員によるワークショップ形式の気軽なものですので、どうぞご参加ください。(詳細は下記ホームページでご確認ください)  
 お問い合わせ: ヴィジュアルデザイン専攻研究室 tel: 042-778-6641

## JAM 女子美アートミュージアム

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学 相模原キャンパス  
 tel:042-778-6801 <http://www.joshihi.net/museum/>



- 小田急線相模大野駅北口3番バス乗場「女子美術大学」行き 乗車約20分  
 ※平日・土曜日午前10時は伊勢丹デパート横グリーンホール前4番バス乗場乗車
- JR横浜線古淵駅2番バス乗場「女子美術大学」行き 乗車約15分
- ◎車でご来場の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください

客員教授



仲條正義 MASAYOSHI NAKAJO

1933年東京都生まれ。東京藝術大学美術学部図案科卒。資生堂宣伝部、デスカを経て61年仲條デザイン事務所設立。主な仕事に資生堂『花椿』、東京都現代美術館ロゴ、資生堂パーラーパッケージなど。



奥村靱正 YUKIMASA OKUMURA

1947年生まれ。70年WORKSHOP MU!! 設立に参加、数多くのレコードアルバムを制作。Y.M.Oを中心としたアートディレクションにより81年からADC賞を4年連続受賞。

専任教員



井上悦治 ETSUJI INOUE

1951年和歌山県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。



茅野義博 YOSHIHIRO CHINO

1951年東京都生まれ。74年日本大学芸術学部写真学科卒。81年からフリー。日本写真家協会会員。



野又 穂 MINORU NOMATA

1955年東京都生まれ。79年東京藝術大学美術学部デザイン科卒。マクヤンエリクソン博覧堂にて84年までアートディレクター。86年以降、想像上の建造物を描くアーティストとして活動。



浅野晃成 AKINARI ASANO

1964年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒。日本デザインセンターを経て独立し、L's de pique.com設立。企業やミュージシャンのアートディレクションを手がける。



林 規章 NORIAKI HAYASHI

1964年岐阜県生まれ。名古屋芸術大学美術学部デザイン科卒。展覧会ポスターやカタログ、広告アートディレクション、グラフィックデザイン全般に従事。JAGDA新人賞、東京ADC賞など受賞。



能見英子 EIKO NOUMI

女子美術大学芸術学部産業デザイン科卒業後、(株)東北新社CMディレクターを経て、現在フリーランスCM・映像ディレクター。ACC賞、ADC賞など入賞。



立花文穂 FUMIO TACHIBANA

1968年広島県生まれ。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒。東京藝術大学大学院美術研究科修了。アーティストとして国内外で展覧会をする傍ら、書籍、雑誌などの編集やデザインを手がける。



村田朋泰 TOMOYASU MURATA

1974年東京都生まれ。2002年東京藝術大学大学院デザイン科専攻伝達造形修了。(有)TOMOYASU MURATA COMPANY. 設立。



粟辻美早 MISA AWATSUJI

1965年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒。91年CRANBROOK ACADEMY OF ART デザイン科(USA)にて修士号を受ける。95年株式会社粟辻デザイン設立。



長崎訓子 KUNIKO NAGASAKI

1970年東京都生まれ。多摩美術大学染織デザイン科卒。イラストレーター。書籍の仕事を中心に、刺繍の図案やグッズ、映画コラムの連載、漫画なども手がける。



矢辺博子 HIROKO YABE

女子美術大学卒。80年代より、国内でシルクスクリーン作品を発表。90年代からは、ブルガリア、ドイツ、ポーランド、タイをはじめとした海外のエキシビジョンにも積極的に参加。日本版画協会会員。

靴のファンタジーを追い続けた41年間の軌跡。

# KISSA TAKADA THE SHOES

SHOES DESIGNER

高田喜佐 ザ・シューズ展

2014 4/6sun-6/8sun

JAM 女子美アートミュージアム

開館時間/10:00-17:00 (入館は16:30まで)

入館料/一般500円(学生、未就学児、65歳以上、障がい者手帳等をお持ちの方は無料)

休館日/火曜日(ただし祝日の場合は開館し翌水曜休館)

主催:女子美術大学美術館 後援:相模原市 相模原市教育委員会 織研新聞社 特別協力:株式会社キサ 高田邦雄

企画協力:神戸ファッション美術館 協力:大谷知子 山田節子 渡辺直子 株式会社ムーンスター

大阪女子樟蔭大学 展示協力:株式会社アマナ アートディレクション:養父正一(Eye-Some Design)



# KISSA TAKADA THE SHOES

シューズデザイナー・高田喜佐 (1941-2006) が41年間に、世に送り出した靴は、彼女の生き方そのものといえます。ファンタジックなパンプスや、カラフルな“ぽっくり”、草履サンダル、大人のズック、そして幼い頃の父の記憶をとどめたマニッシュシューズ。「靴はファンタジー」を実践してきた高田喜佐のクリエイションの軌跡と多彩なライフスタイルを、膨大な数の靴やデザイン画、写真などでご紹介いたします。

## シューズデザイナー・高田喜佐

1941年東京都生まれ。女子美術大学付属高等学校卒業。多摩美術大学図案科(現・グラフィックデザイン学科)卒業。'66年、初の個展「靴のファンタジー」を銀座の画廊で開催し、オリジナルブランド「KISSA」で、シューズデザイナーとして出発。70年代にポックリとファッション・ズック、マニッシュなカジュアルシューズを発表し、'77年、株式会社キサを設立、その後青山に「ブティック KISSA」をオープンする。日本の女性靴にデザインの概念を持ち込んだと評価され、以後靴デザイナーの草分け的存在となる。機能美と遊び心が融合した大人のためのカジュアルシューズは多くのファンに支持され続けている。エッセイストとしても活躍し、『大地にKISSを』(文化出版局)、『靴を探しに』(筑摩書房/日本文芸大賞自伝優秀賞受賞)、など著書も多い。



1



2



3



4



5



6

## トークイベント「THE SHOES」 5/17.Sat. 館鼻 則孝 × 高田 邦雄 13:30-15:00

高田喜佐の靴作りと館鼻則孝のクリエイションについて語る対談形式のトークイベントを開催。

### 館鼻 則孝 (ファッションデザイナー)

1985年東京都生まれ。東京藝術大学美術学部工芸科卒業。10代の頃より靴や洋服の制作を独学で始め、大学卒業と共に、自身のファッションブランド「NORITAKA TATEHANA」を設立。レディー・ガガの専属シューズデザイナーとしても、知られている。

### 高田 邦雄 (株式会社キサ代表)

1943年生まれ。上智大学理工学部卒業。商社・百貨店に勤務した後、展覧会・文化イベント・商業文化ビル・地域振興などの企画会社、高田事務所を設立。東京・青山スパイラル、福岡・天神イムズなどの企画・プロデュースに参加。現在は姉、高田喜佐の後を引き継ぎ、株式会社キサの代表を務める。

【参加費】無料(ただし入館料は必要) 【定員】200名(申込先着順)  
参加希望の方は、女子美アートミュージアムまで Eメール・Fax・電話のいずれかの方法でお申し込みください。お申し込みの際には①イベント名②氏名③住所④電話番号⑤参加人数をお知らせください。

1. 1988年秋冬/蔓に見立てたストラップはワイヤー入り。自在に形が変わる。  
2. 1966年/第一回個展「靴のファンタジー」のために制作。トップラインをスパンコール付きフリルで飾った、スエードのパンプス。 3. 1973年/少し厚底、ギンガムチェックのバスケットシューズ。ズック第一号となる記念的作品。 4. 1999年秋冬/ボニーで作った冬用のサボ。 5. 1980年代後期/ヴァンプにムートンを使ったウィングチップ。 6. 1990年/トリプル・コンビネーションのオペラ・パンプス。作品集「Shoe, Shoe PARADISE」用に制作。  
全て神戸ファッション美術館蔵

## JAM 女子美アートミュージアム

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学相模原キャンパス  
Tel || 042-778-6801 Fax || 042-778-6815 E-Mail || bsk@venus.joshiibi.jp  
展覧会特設サイト || <http://www.joshiibi.net/jam/14shoes/>

### 交通案内

- 小田急線相模大野駅北口3番バス乗場「女子美術大学」行き乗車約20分
- ※平日・土曜日午前10時前は伊勢丹デパート横グリーンホール前4番バス乗場乗車
- JR 横浜線古淵駅2番バス乗場「女子美術大学」行き乗車約15分
- ◎車でご来場の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください。

